

星田直彦著「楽しく学ぶ数学の基礎 - 数と式、方程式、関数、あなたのつまずきは、これで解消! -」
サイエンス・アイ新書、ソフトバンク・クリエイティブ株式会社 2008年3月23日刊を読む

楽しく学ぶ数学の基礎 - 数と式、方程式、関数、あなたのつまずきは、これで解消! -

1. 昨今は、数学ブームなののでしょうか? 一般向けにたくさんの数学の本がでているようです。
2. 数学を教えている私のところへは、なんだかんだと「声」が集まってきます。それは、数学を扱った一般向けの本への「苦情」といえばいいのか、「要望」といえばいいのか……。
3. 計算問題がたくさん載っている本があります。確かに脳のトレーニングにはよいのでしょう。しかし、「できる」とわかっていることを、できてもうれしくないという人が多いのです。なるほど、それはわかります。
4. 数学はやってみたい。でも、「できる」とわかっていることはやりたくない。かといって、自分にとってむずかしすぎるのもやりたくない。ちょっとわがままですね。
5. そこで、「どんなことをやってみたいの?」と尋ねてみますと、
 - (1)「昔、つまずいたところを、理解できたらいいな」
 - (2)「数学の先生は、『ここは感動するところ』と言ってたけど、そこがわからなかった。私も数学で感動してみたい……」* という感じだそうです。みなさん、勉強熱心なんですね。
6. それじゃあということで、数学の基礎の段階で、つまずきやすいところ、感動できるところを集めて書いてみようと思い立ちました。
7. ところで、みなさんは、「方程式」ってなんだか説明できますか? また、「二等辺三角形」の定義がいえますか?
8. これらの質問を高校入試を間近に控えた受験生に投げかけたところ、両方とも答えられる生徒は、非常に少ない状況でした。たぶん、説明ができなくても、定義がいえなくても、なんとなくテストで点数を取れたのでしょう。

9. しかし、「方程式」が説明できたら、「二等辺三角形」の定義がいえたら、数学の時間はそんなに苦労することなく、もっと感動できたのかもしれない。

10. 遅くはありません。大人になったいまなら、学生時代のテスト地獄から解放されて、ゆっくりと取り組むことができます。あのときつまずいた「石」を、いま、蹴飛ばしてやりましょう。そして、あのころ、数学で味わえなかった「感動」を、いま、味わいましょう。

11. 紙と鉛筆がなくても大丈夫です。華やかさには少々欠けますが、確実に数学の基礎が理解できるような本をめざしました。きっと、「そういうことだったのか」と叫んでもらえると思います。

12. さて、こうやってできあがった本を見ると、大人向けに書いたつもりだったのですが、実は、中学生が読むといちばん役に立つのかなと思うようになってきました。ご家庭に 1 冊置いていただき、親子の会話の 1 つのネタにしてもらえればうれしいです。

P3 ~ 4

[コメント]

大人のための中学数学の再入門のための本書ではあるが、算数の得意な小学生や中学生、高校生が読んでも大いに役立つ。一番参考になるのは、学校や学習塾で中学生に数学を教えている先生と、もう一回基礎から数学をやり直した方がよい高校生、大学生だと確信する。ノートを用意し、教科書を読むように 1 ページから最終ページまで 6 回勉強してみよう。必ず力が身につく。

- 2010 年 6 月 10 日 林明夫記 -